滿洲日報

○報價目
每月收取八角代價所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登一月者每行每日一角登長年者價當面議從減
每張四百文

油豆行情（中曆三月十九日）
集市元豆六吊百至六三吊二百
紅糧價錢五吊四百文至五吊
集市共上車三十餘輛
邊東共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一七九半紙 仝 一圓八十錢
一連紙 一連 一圓
一フールスカヲプ 仝 四圓
一中判洋紙 仝 二圓
一半紙野紙 百枚 二十錢
一卷紙 四十枚綴 十四錢

一仝三組道具 一圓五十錢以上一圓七十錢
一椅子 一圓五十錢以上四圓五十錢
一簟笥 三十圓以上三十五圓
一卓子 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛 六圓以上十二圓
一厨房用戸棚 七圓五十錢以上十圓

一縞毛布 一枚モノ 四圓以上六圓五十錢
一長火鉢 八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢 一對 六圓以上九圓

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

告料 一ケ年以上 銀十五仙乃至十…
一ケ月以内
一長期連揭減價面議

發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社（電話二九番）

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
横濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫勤 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
電話 十番 支配人室 百八番 事務室

横濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告

竹島丸 十八日出帆太沽、芝罘、門司、神戸
營口丸 廿四日 仝
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ 未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店 旗昌洋行（電話二六番）

瀛船出帆廣告

日勝丸 二十日 門司、横濱行
御代丸 十九日 門司行
日の出丸 二十日 大連、長崎行
鎭海丸 廿三日 門司、横濱行
勢德丸 廿二日 門司行
萬成源丸 龍口定期・
乘船切符は弊行にて發賣仕候
松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着

朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社 營口瀛船出帆廣告

盛航丸 廿四日入港
能登丸 十六日入港
代理店 ブツシュ兄弟商會
東營口公園地横 遠來洋行（電話二十三番）

宅洋行

啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子絨布手巾花巾洋襪火柴綿表等類價値格外克已並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業所以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著實所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周祥俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧爲勝榮幸之至 總司理人 田中賴之助謹白
開設老爺廟街同盛德院内 電話（店一八三番 住所五五番）

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運等事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寛大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷 總司理人 葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之 正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寛大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

仁裕號

係裝運各幫火輪船生意兼賣各路洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克已凡 中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需[illegible]本主人啓

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街 東櫃（電話九十五番）
西義順棧内 西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司

本行專售 日本官造紙烟 星象牌（斯達） 櫻花牌（撻黎） 百合花牌（利利）均已馳名内外茲特選上等烟料加工精製 雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價値極廉 諸君欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元探買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船

摩耶山丸 穎朝丸
專往東洋各埠

啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大連平昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行幷各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全 有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷 松茂洋行（電話五十二番）

矢野洋行

啓者本行開設營埠已週一載幸蒙貴客商顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種罐詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡暨婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也
營口元神廟街 電話百三十七號 本行主人啓

三井 電話 第六十六號 第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候（電話百二十八号）

經理

○明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司

啓者本公司開設在三井洋行内已久實存資本百五十萬元，分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行 電話 第六十六號 第九十一號

鐵道遼河裕和盛運輸局（電話八十一號）

在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年幷店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲 運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

丸三洋行分莊

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價値格外從廉賜顧者請光臨本行面閲是幸
丸三洋行分莊謹啓

遼河運輸同濟公司

本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨與交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙 貴商光顧者請至本號面議特仰週知
東櫃開設 營口南永世街北斗洋行
西 營口西北街塘子胡同内

上海中井洋行

專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙訂莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

志岐組木料棧 材料出售

啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克已凡中外士商光面議願請到本棧

生徒募集

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し曩に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口 瀛華實學院

營口瀛華實學院招入學生

本學院肄業諸生頗着成效惟是從去歳常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寛宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口瀛華實學院

丸重洋行 貨物運輸

啓者本行前在營口臺實雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東清鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉値籌貨主之利便爲旨如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構内分莊面議不悞
電話 營口 八拾番 牛家屯 四拾六番

東三省電報總局廣告

援運啓者頃接上海電稱、各省將軍都統督撫院提鎭藩臬運道臺各關局處均鑒美屬舊金山地震成災僑寓各國商工民人驟遭慘厄美廷迅即救援各國亦均自救其僑民華商三萬餘人產業全燬仰蒙聖慈沛帑肆萬兩飭由瑞徵購買美金電匯梁使派周參贊馳往賑撫華民因而寓滬紳商奮起一切情形均見日報海寰等先就上海萬國紅十字會籌湊銀貳万兩寓滬粤商湊集洋伍千元購美金電匯一面仍借各紳商多方設法藉示華商以朝野上下如此同心合力切實保護所關甚鉅謹此電聞倘尊處本擬籌撥款項請速滙美京梁使收撥或將款匯滬交商會彙取收條爲憑代買美金轉滙總祈迅速籌濟爲要呂海寰盛宣懷楊士琦李經新劉宇泰瑞徵京炳棣沈敦和任錫汾周晉鑣會鑄朱佩珍施則敬任鳳苞等同叩魚等因合亟錄呈各貴官商惠鑒如有軫念同胞慨籌急賑者請速將款逕匯美京或上海商會否則逕請就近交由各該處中國電報局代收一面先給收條一面電匯滬轉以期迅速救我僑民不勝企禱謹啓

東京電報

●**漁業境界規則の適用** 浦鹽斯德港官憲の發布せし漁業境界規則は單に密獵を防止する爲め黒龍江沿岸のみに之を適用さるゝものにて我沿海州に於て獲得すべき漁業權を侵害する事なしと云ふ（十五日午後二時五十八分發）

●**西園寺首相の伏奏** 豫て滿州視察中なりし西園寺首相は愈々昨夜歸京したるを以て本日午前十一時半參內し視察の結果を伏奏せり（十五日午後一時二十六分發）

●**首相と伊藤統監** 首相は十五日朝伊藤統監を訪ひ緊要事件に付き協議し後閣議に臨めり

●**佐久間總督の出發** 臺灣總督佐久間大將今朝出發歸任の途に上れり

●**大島總督尚滯在** 本月中旬頃歸任の筈なりし大島關東總督は本月中は尚滯京の見込なり

●**井上伯の請待會** 井上伯はシツプ夫妻及び伊藤統監を今日招待す

●**鐵道紀念會臨席** 山縣元帥兒玉大將寺內陸相等十九日名古屋の鐵道紀念會に臨席すべし

●**愛國婦人會總會** 愛國婦人會會總を二十日新宿御苑に開く

●**外資輸入と外人** 目下外資輸入運動の爲め內地に入り込める外人多し

●**沈相薰の無罪** 京城にて陳相薰無罪を宣告されたり（以上十六日發電）

倫敦電報

●**露國議場と奉答案** 去る十二日露國議會に於て議員激烈なる演說を以て人民の苦痛を陳べたる後選擧せし委員に勅語に對する奉答案を起草する時死刑を廢して大赦令を發することを奏請すべきことを要求せり（五月十四日發電）

雜報

●**滿洲開放の成行** 滿洲の開放に關する經過なりと云ふを聞くに最初撤兵開始以前利害關係國より三市の開放を督促し來りたる際清國政府は故らに任意なる措置を採る能はざる事情ありと復牒し暗に日露兩國撤兵後に於てすべきことを示したるが其後撤兵も殆と終了せんとするに當り更に督促に接して開放後の規則章程及諸準備完成の期を待たれ度旨の遁辭を設けたるも我政府及米國政府の抗議に依り今回の開放實行を見たる始末にて開放の權は固より清國政府にあると明かなれは我政府の利害國に對する通牒は單に帝國政府は開放に異存なく清國政府の任意處置に委すべき意味を明瞭にしたるものなりと云ふ

●**露國の極東防備** 近着露國新聞の報に依るに露國は日露戰爭前に滿洲及び東西伯利衛戍兵として總計十個の狙擊大隊即ち約一箇師團の兵を駐屯したるのみなりしに今回從來配置の野戰砲兵國境守備兵及び特種兵の外戰時に編成せられたる東部西伯利狙擊十箇師團の兵を配置するに決したりと云ふ且つ露國は此の如く極東に多數の兵を駐屯するのみならず貝加爾及び滿洲地方の鐵道線に沿ひ處々に防禦砲壘を築きて防備を嚴にすべしと

●**滿洲の煙草課税** 今回奉天將軍趙爾巽氏は煙草課税命令を發したるか右は日清戰後の兩國通商條約に於て清國輸入稅率改定取極書に清國に輸入する紙卷煙草に對しては價格千個四兩五を越えざるものに對し一兩に付百分の九の課稅をなし又英清條約に於て同樣四兩五の低代稅を課せらるゝ事の明記あるも現今奉天等にある煙草は總て大連より輸送されつゝあり大連は日本の占領に屬し軍制施行地なれは通商條約によりて課稅すべきものなるや否やは尚十分研究を要すべき問題なるも我當局者に於ては既に之に對する成案ありといへは遠からず何等かの交渉開始せらるべしと

●**大海戰の一週年** 來る二十七日は實に日本海大海戰の第一周年紀念日に相當するを以て我が海軍當局者は築地水交社に於て各皇族殿下を始め奉り元老各大臣貴衆兩院議員新聞記者等數百名を招待して紀念の大祝宴を開く由なり同日は例に依り數種の餘興中各艦下士連の催しに係るものも多く尚翌二十八日は隅田川上流に於て各艦隊水兵の大端艇競漕會を擧行さるべしと

●**獨逸東洋艦隊擴張** 獨逸海軍大臣チツピツ提督は先頃豫算委員會の席上、同國東洋艦隊中の大型艦は凡て本國に召還するの必要ありと述べたりとのことなりしが更に最近着の英國新聞を見るに同國は今度防護巡洋艦カイゼリンアウグスタ號（六千三百噸）及び小防護巡洋艦ニオベ（二千六百五十噸）を東洋に派遣するに決したりカイゼリン、アウグスタ號は千八百九十二年の進水に係れとも一昨年五月以來キールの船渠にあり百萬圓を支出して改造工事を加へつゝありて其戰闘力は大に增大したりとなり

●**露帝の過去帳** 長崎に於て發行する露國革命黨の機關新聞は露帝の過去帳と題し昨年十二月一日より今年二月一日までバルチツク地方にて革命運動に組みし死刑に處せられし軍人六百三十九名、普通人民にて暴動の際兵卒と衝突して殺されしもの三百二十一名この內にて學校教員、大學生・機關師多く又大地主二十九名ありと記せり

●**浦鹽肉類輸入規定** 露國政府はプリモルスカヤ州軍務知事に對し電報にて命令する所に依れは濱州より浦鹽に輸入せらるべき肉類は衛生試驗を受け露國領事の記名する荷證を付するものに限り輸入を許し支那よりの輸入肉は露國獸醫の署名ある荷證を要すと右は濱州と支那とを規定すと雖も又他國よりの輸入肉に對しても之と類似の手段を取るなきを保せずと云ふ

●**樺太民政署經費** 樺太民政署の經費は三十九年度は陸軍臨時費中より支出する事と爲り居るが其豫算は經常費約十七萬圓にして之に種々の調査費を加ふるも二十萬圓に出てざるべく尚道路の改築其他の工事費を加算するも本年度は高々四十萬圓內外ならんと

●**米人義捐金の總額** 曩に米國大統領が其敎書に依りて我東北三縣の窮狀を全國人士に訴へて救濟の途を講ずるや之に應して同國赤十字社及クリスチヤン、ヘラルド新聞社等を經て本邦赤十字社へ義捐金送附方を申來れるもの既に十回に達し其總額實に四十二萬零四十五圓十七錢の巨額に上れりと云ふ

●**安藝、伊吹の建造工事** 筑波進水臺の跡には戰艦安藝（一萬九千六百噸）の据付工事中なるが同艦は橫須賀にて建造中の薩摩と姉妹艦にして十二吋重砲四門の外十吋砲を据付くる由にて其戰闘力は最も優勢のものなりと又生駒進水臺の跡には裝甲巡洋艦伊吹（一萬四千六百噸）を据付け不日起工式を擧行する筈なりと云ふ

●**北海道の經濟的發達** 北海道に於ける最近十箇年の統計を見るに之を十年以前に比較し其人口は六分六厘の增加に過ぎざるに經濟上の發達は實に長足の進步にして水田は五倍畑は三倍に增加し農作物價格五倍以上內國稅收入五倍殊に關稅收入は六倍の多きに及びたりと今後同道築港にして完成し排水事業益完備し林業の處理其宜しきを得は經濟上の發達は今日に數倍すべきや明かなりと

●**鐵道授受みちくさの記（五）** はまのや

我鐵道受領委員中村少將等一行は委員幷に之れが通譯・及び警護の騎兵一小隊よりなる騎馬一行にして、二十五日は午後一時半を以て四平街停車場に着、時恰も露國委員の喫飯中なりしを以て暫時休憩夫より彼の應するに任せて談判開始す　午後三時少し過ぎなりしといふ、一体四平街は露國東清鐵道最南端の一驛終極停車場なり

此所迄は敵の領地ぞ鬼薊

露國委員は哈爾賓より特別列車を出して之れを同停車場に停め、以て此列車を我委員連中の宿舍或は又談判所に充てんとす、委員の宿舍は一等客車にして談判所は之れ食堂車なり、其構造五呎式の流石は大なり又一等車の如きそれ〲に區分離隔して客室を設備す、我一等船たる丹波丸の一等客室の夫れにも優して室內の裝置裝飾整備且寬濶なり、露國式の列車の規模大なる之を我列車に比較せんか恰も安奉鐵道の列車と普通鐵道の列車位の差違かにあるなり、……

四平街停車塲は四平街を距る十五清里、野原の中に建てられたる停車塲、故に停車附近商人或は旅店皆新造の假普請、客店のみにて十七八軒其他を合すると三十四五軒はあるべし、最極端の停車塲なるか故に相應に雜踏繁昌、斯くも此停車塲に新設家屋の劇かに增加したるは他ならず、我鐵道か普通貨物を取扱ひ出したる其後の事四平街停車塲の繁昌は本年一月以後の事也、即ち此營口を積出して昌圖に送り、所の貨物は同所より馬車輸送によりて更らに四平街停車塲に送り付けられ同所より長春或は哈爾賓方面に輸送せらるゝもの也、其當時乘客毎日約千人乃至七八百人シカモ苦力体の者多し之等も亦山東方面より此營口或は大連に上陸昌圖迄を滊車に夫より百三十清里を徒步四平街より乘車長春或は哈爾賓等に向ふもの也、モシ我れ長春迄の鐵道を授受せんか之等荷客は我れに長春迄の運賃を仕拂ふべき顧客なるなり……　四平街にて停車塲及び附屬建家及び兵舍等にて二十五棟あり、三戸程破壞されたるがあり、一時は此四平街をも捨て去らむと決心したるやにあらむ、直に構外北端の橋梁の如き一旦破壞したるを更らに修復したるものなるを見る……俄繁昌なるには相違なきも昨今に於ける同停車塲附近の光景はなか〱壯ん十七八軒もある宿屋皆人を以て充滿さる……同地よりの發車は日に一回（正午十二時）のみなればぜとに一泊はせざるべからず將又街主等の來り我貨物を少しにても速く積出さんと周旋するあり、昨今の塲合夫等人々の同地に宿泊するもの旅人とを合せ千人以上あるべしと云ふ……四平街は未た純然たる露西亞の占領地なりシカモ我軍用手票の流通する吾等大いに肩身の廣きを覺ふ

此所も又我國よりの惠方哉

●**遼東の漁業一班** 遼東沿岸一帶の漁區は一、長山列島二、金州沿岸三、熊岳城沿岸四、鴨綠江沿岸等に區別し魚類の收獲は金州最も盛んにして太刀魚は沿海一帶之を產し鮑魚海參之に次ぎ一月二月はボラを產し四月より九月頃迄は鯛の產出多くして長山列島は四五月頃渤海灣は六七月頃收獲大なりと云ふ日露戰役前は露國極東總督府に於て金州漁民保護を名とし毎年蒸汽船二艘を以て巡査四五十名を乘せ漁業海岸に派し保護料として五千乃至一萬兩を徵收しつゝありたりと云ふ

●**鐵嶺彩票の開票** 久しく行惱みの狀態に在り世人をして疑惑の燒點たらしめたる第一回鐵嶺獎學彩票は愈々去る十五日を以て開票したるが今當地取扱店松茂洋行への入電に依れば開票の結果重もなる當籤左の如しと云ふ

頭彩	（六千圓）	一九、六五〇
二彩	（三千圓）	一九、七二〇
三彩	（一千圓）	九、七四二
四彩	（五百圓）	九五七

●**大連沿岸及棧橋使用權** に就きては一時各船主間の問題と成り居たるが今回大阪商船會社に政府より十五萬圓の保護金交付を得大連航路を開始する事となり昨今は主に商船、郵船の兩會社にて獨占の狀態となり居るより各船主は再ひ其使用權を得んとて目下協議中なりと

●**上等兵の葬儀** 大石橋駐屯步兵第六十一聯隊第二大隊第七中隊上等兵辻本德松氏は去る十一日病死せしを以十三日午後四時半大石橋病院出棺盤龍山々腹の陸軍戰病死者合祀紀念碑前に於て葬儀を執行せるが當地より寺本布敎師飛錫し嚴肅なる讀經あり奧田大隊長の祭文及び喪主中隊長代菅原少尉の祭文あり隊附將校及旅團司令部の鎌田高級副官將校一同及び下士卒總代の燒香ありて頗る森嚴なる葬儀なりしといふ

●**人の噂（三）** 營口人の餘藝道樂を調ふるに、與倉軍政官は、武藝は何でも好き、大弓擊劍は最も得手、平岡佳吉の刀劍鑑定、盛進商行の中辻は謠曲・平安組の加藤吉五郎は仕舞、領事館片山敏彥は酒と詩、酒は最も豪の者、江副の松野綠は詩、小倉定次郎、久間九郎、神野良は圍碁、小泉市太郎の大弓、酒井榮次の俳句、其他中井和賀雄の壺坂（義太夫）、來原小樹の紀伊の國（踊）、宮崎宗朝の追分節は特に上手、瀨川領事は人に御馳走することか道樂で、飯塚と正金の中村は仕事か道樂だと云へり▲料理屋板塲の腕前では第三樓が第一だ次は日本館に金城館、春帆樓を擧る人あれど、未た其腕前を見ない、祇園閣の西京流は、物足ぬ心地す▲板塲の大將と云へは、萬梅の板塲、木島爲公だ、滿洲で渠ほどの腕のある者はあるまい、併し奴さん滿洲の御客を馬鹿にして、腕を出さない、御客か渠の技倆を知て訛へれは。中々にやる、特に渠は庖刀物より、鍋物が得手、今の間に腕を揮はないと仕事に光澤かなくなるぞ▲芝居道で、大道具の長谷川と名を賣るまでに、板塲で爲公といふまでは大抵でない、併し此地は、板塲にポチをやる程の御客は少ない、腕を揮はぬも萬更でない

投書かご

▲五月十二日の事でありました軍政署の前を通ると五六人の黒紋付羽織を着た女連が下婢准票と居留認可証とを見ては互に耳語て行くのを見た何家へ來た新猫か知ら（雨雪）▲元神廟街の或賣春屋には八人の賣春婦が居るが四人は身內の者で四人が他人である所からツイ二派に分れて四名はもうストライキを起したとか將に起ざんとするとか聞いて居る御主人餘りイコ贔負をやると飛んでも無いとに爲りますよ借金を踏まれぬ內に慰撫策が肝要である（忠告生）▲某君よ君は人道を無視して畜外に浸たり込んで居るが君の〇〇に浮身を窶すは甚だ君の爲めに取らぬ醜體暴露の曉には後悔更に及ばずだシツカりしろ（半露生）▲奉天の花柳界は爺殿嬶樣を始め藝者や酌婦の冶郎共迄博覽會〱と云ひ當てに當てゝるが見て居れ今にへーちう間に向から外づれて來るから（好々的生）▲三河の惣吉さんは九州の人公共事業と來たら食ふものも食はず東奔西走道理で過日紀念日に働いたとて某少佐から感謝狀を貰つた此人仲々義俠ある人だ惣吉さんお達者に願ひます（奉天社會主義生）▲先達松を枯らし掛つた凋落生君に申上げますそれは「センキウ」といふ草を藥師屋から買つて來て蒸し出して朝夕二度位根に灌けなさい一週間位で蘇生詰合であります併し餘り根元の方へ灌けると惡るいから一寸五分も離して灌けるのですよ（物知顏の男）

●**旅館料理店へ注意** 近き將來に於て愈々牛家屯なる新市街地に邦人の總てを移轉せしむる事となるは已に讀者の知悉する所なるが近頃道路の風說に依れば旅館料理店の中には狡猾手段を講じ移轉準備は愚か何たる計畫をもなさず荏苒今日に至り尙內心移轉料を其筋に出願する等の野心を抱き居る由右に就き某消息通の語る所に依れば斯くの如き有樣にて尙頑として應せざる曉に於ては現在の營業は勿論將來移轉を其筋に出願するも或は制限せられて許可を與へられざるやも計り難きと之れ無しとも限らずと此言大に一考すべし必ずしも一顧の價値無しとせざれば各自に於て此際充分熟考し姑息手段の爲め前途の悲境に陷らざる樣注意すべしとなり

●**一般婦人科病者の便益** 營口病院に於ては是れ迄旅館料理店の藝妓下婢のみの患者に限り治療し來りしが當地の如き婦人科專門醫少なく且つ完全なる治療器械の備付あらざる土地に於て婦人にして一たび婦人科病に罹る時は止むを得ず歸朝せざるべからざる不幸に陷る事となるを以て與倉軍政官に於ても常に之れを憂慮せられつゝありたるか同病院も今日にては既に婦人科醫は勿論器械其他萬事遺憾なく整備せるを以て本邦婦人にして望の人は入院又は診察等を許さるゝと云ふ

●**梅毒患者の增加** 營口病院主任横山氏の談に依れば檢黴開始以來絕えず五六十名の患者を收容し來れるも眞正梅毒患者は甚だ稀にして其大部分は淋質より生ずる子宮頸管加答兒なりしが近來眞の梅毒患者の續發するは驚くべき現象なり現在日本婦人の入院患者は五十四名にして其中十五名は眞正梅毒患者なり總べて中以下の料理店に營業せる婦人に該患者多し而して當地にて發生せし患者は全く皆無にして新に渡來せし婦人に多く所謂內地より輸入せし者なり殊に局部を檢するに多くは之れ迄內地に於ても竊に春を鬻ぎし徵証充分見え居れりと尙清人より傳染せし摸樣もあれども這は至つて尠少なりと云ふ

●**營口花信** 無名氏より左の投書が舞ひ來る紙末書して「此記事沒書にしたら必ず日報社を燒に打すへし」といふ乃ち恐る〱花信中に收むる所以其代り醉月より燒打を喰ひ候節には宜しく御加勢願上候

醉月のニヤン公皆去つて此頃は丸で醉暗といふ有樣だシカシ拔目のないオカミはニヤン裙引卒の爲め疾うに內地へ誤出張といふことツレにしても有名なチン〱屋のオカミがヨクも例の十八島田を爺の側に置いて出掛けたものだ嘸や今頃はニヤン所ではなく此方の夢にウナサレてニヤンの事もなくオ婆さんの清姬を演して居るたらうとの噂があるダガそこはそれ戀よりも慾の方がズーツと突張つてる手合ゆゑ慾の爲めなら戀はおろかのことと親や亭主を棄てることは屁の樣なものサ、とは云へ不日歸ツたなら今度は慾と色とが重なツてドンナ悶着を起すか知れない迷惑するのは家の小孩等と近所合壁たとて今から啣しの種にして居るさうだそれにしてもヨクモ斯う忌はしい獸物が揃ツたものだと近隣での啣しを其儘

火車時刻

關內外鐵道

上り：營口發前八、二〇　七、〇〇／溝幇子同九、四五　九、〇〇／錦州同后三、四五　二、〇〇／山海關着六、〇〇　八、一〇／山海關發前八、一五　五、〇〇　北京發前八、〇〇

下り：山海關發前七、〇五　四、四五／錦州同后三、二五　二、〇五／溝幇子同二、四五　四、四〇／營口着四、五五　六、五一

東清鐵道

上り：新民屯發前六、〇〇／溝幇子着同九、五七／營口發前六、三五　后九、三五／大石橋着同七、三〇　一〇、三〇／大石橋發前八、〇五　后一一、〇五

下り：溝幇子發后三、〇〇／新民屯着同六、五七／大石橋發前八、一五　后一一、一五／營口着同九、一〇　一二、一〇／大石橋發前七、三五　后一〇、三五

諸鐵工製作
汽鑵山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
營口 ブリツジ 紋商定會 門
喜川鐵工

支那叢書 第壹編
支那政府組織 全 定價一圓
清國の情況を知るは現下の急務なり清國の情況を知らんと欲せば先づ組織の眞相を知らざる可らず老帝國政府の眞相を知らんと欲せば乞ふ斯書を一讀せよ
八軍諸君には特に一割引とす部數に限りあり至急御申込あれ

天氣豫報

營口地方天氣豫報　自十六日午後六時至十七日午後六時

南の風曇り

短篇小説 葬具屋（下）

（プーシキン作　吹田 蘆風譯）

アドリアンの起こされた時は、夜は未だ明けやらず、眞闇であつた。彼の商人ツルツシンの妻は、その夜中に死んだので、急使が早馬に鞭打つて、渠の許へ馳け付けたのである。葬具屋は使の者に酒代だと云つて、十「コペエカ」を握ませて、大急ぎで服を着、ラスグライ指して辻馬車を軌らせた。忌中の家の入口には、已に警官が立つて居るし、商人連は獲物を嗅ぎ出す鴉の様に出たり、入つたりして居た。死人は臘の如く黄色になつて横つて居たが、未だ腐つて醜い様を表はしては居ない、周圍に寄つて集つてゐるのは、親類、近所の人や、友達等である。窓と云ふ窓は開かれ、蠟燭が煌々燃えて居る。僧侶は祈禱をした。アドリアンはツルツシンの甥に當る、流行の服を着た年若の商人に近づいて棺、蠟燭、棺衣並に葬式用一切の諸道具は、定めの時間通りに、粗相なく、御渡しすると云ふ次第を申し述べた。相續人は氣散じに、渠に禮を述べて、價格の所は折價らない、その代り助才も無からうが、萬端確實に賴む、と云ふ樣な旨を附け加へた。葬具屋は、イエ決して掛價などは申し上げませんと定文句を並べた後、職人共と勿体ありげな眼付を見交はし、さて緊急な仕事に取り掛かる爲に、その家を出た。その日は一日、渠はラスグライとニキツキ市門の間を幾度となく往復して過ごした。で夕方になつて、用事が悉皆濟んだ。渠は馭者と別れて家路を指して歩いて來た。月が良い晩であつた。葬具屋は幸にもニキツキ市門に到着した。昇天教會の傍で、例のユルコ先生が渠を呼び掛けた。然し葬具屋である事が分かつたので、今晩はと云つた。最早夜も大分更けた。葬具屋は我家の近所迄やつて來ると、俄然何者とも知れず、扉を押し開けて、我家の中へ飛び込んだ奴がある樣だ。

アドリアンは考へた。「一体今のは何だ、最早吾儕に用のある譯はなし、それとも盜賊か知ら、イヤ彼の馬鹿娘に顎ツ丈と云ふ樣な野郎がやつて來たのかな。コリヤ何うも不都合千萬だわい！」

葬具屋はユルコ先生の援助を呼ばうかと思つた。すると俄然、又他の人間が入口にやつて來たが、アドリアンの大急ぎで寄り來るを認めて立ち止つた、で三角形の帽子を脫つた。アドリアンは何だか見識つた顔だとは思つたが、何分忽卒の際とて能く見屆けることは出來なかつた。

「貴方は私の宅へゐらつしやるですね、一体ソノ何方樣で、……」とアドリアンは息急き切つて尋ねた。

その人は鈍聲で答へた「ヤ、何もさう改まるには及ばぬよ、何卒先へ入つて、此の君の賓客を案內して呉れ給へ。」

アドリアンは會釋する間もなかつた。入口は開いて居つた。アドリアンは階段を登つて行くと、變な人は、跡から追いて來た。渠の室には大勢の人が入り込んで、歩いてゐる樣に、アドリアンには思はれた。

（以下次號）

●遼陽花柳のぞき（三）　兎耳子

▲玉吉姐さんの悔み　遼陽氣樂亭の藝妓玉吉（二十八才）は四五日前から八の字髭の軍人と見ればニヤ〱と凄氣味惡く笑ひ「モシ貴方江川さんを知つて、おまへんか」と藪から棒のやうな頓狂な聲で聞きたがる容態は尋常でなく何でも之れには曰く因緣のあるべき筈と一寸探りを入れて見れば成る程面黒き痴談こそ現はれたり其の仔細と言へば今は昔し九年前玉吉は臺灣に左褄をとり藝妓づとめを大事に稼ぎ居る內馴染客なる工夫某に根引され手に手をとりて鹿兒島に還り新世帶を持つ間もなく兩人にて遙々浦鹽斯德へ出稼に渡つたのは六年前なるが扨イ根が工夫如きもの故玉吉を態能く詐し六百圓にて身を憂き川竹に沈ませ之れにて大願成就と舌敲ち鳴し何れへか蹤跡をくらませたり玉吉は無念遣る瀨なけれど仕樣もなく斯くて見知らぬ他國三界に又も左り褄を取る身となり商賣大事に働きしかば借金も程よく濟ませしに時恰も日露談判の破裂に際し浦鹽斯德を引揚ぐる事となり夫れより朝鮮へ涉り彼處此處と彷徨ひ安東縣を經て遼陽に若きしは去年の暮なるが遼陽ホテルに藝妓稼ぎをなす內江川と言ふサーベルに大逆上せ切つても切れぬ味な仲となりたれど江川サーベル軍人なれど彈藥盡き兵糧纘かざるより儘よ惚れたが因果と玉吉は首も廻らぬ程借金を重ねて今の氣樂へ鞍替へし他愛もなく夢中となりておる折柄前記の工夫某何處にて聞きしにや玉吉を尋ね來り啖呵を切つての掛合ひに止むなく手切金百圓を渡しマー是で厄病を拂ひ先づ安心と胸撫で卸す間もなく江川サーベル急に凱旋歸朝する事となり別れの一夜末は互に變らじと堅く誓ひて夫婦の起証まで取り交はし出立せしが其の後指折り數へては又數へ江川よりの音信を待ち詫び居る內先頃音信の郵書を取る手遲しと披いて見れば開けて悔しき玉手箱都合により夫婦の約束は破談可致候の文句にチエー殘念な口惜しい詐されたと狹き女の心からヘツト神經惱ませしより此の兩三日斯くは暴動おかしかりける次第なりとぞ

俳句　虛空洞

青麥に一水白き遼河かな
支那馬車に挨りを揚げて東風が吹く
ちよろ〱と岩を辷りて春の水
萬丈の塵や高塔見えわかず
踏青の緞茶袴や滿洲式

告示

五月十四日第五、六回懸賞捕鼠抽籤執行の處其當籤したる番號左の如し

一、當籤者賞金受領に付左の通り心得可し

當籤者は五月廿五日迄に衛生局に至り當籤札と引替へ賞金受領す可し若此期限を經過するときは其當籤效力は消滅す

二、賞銀額

一等　銀五十圓　二等　銀十圓
三等　銀二圓　四等　銀一圓

譯文

本月十四日施行第五第六拈鬮鼠票得彩號月如開於左其得彩者五月廿五日以內各携原領執照往赴衛生局領銀可也若過期不赴領者將其得票爲廢此特示

賞銀額
一等　銀五十圓　二等　銀十圓
三等　銀二圓　四等　銀一圓

第五回捕鼠抽籤當籤番號

一等　三二一四
二等　八二　一一二二　三二七六　三五〇九　三三九一
三等　三九五　八五三　八四九　六三八　三一四三　三三五〇　七八七
二八九四　二六〇四　二〇三五　八三七　二二九九　二八五
二五四五　四一一　二八八三　九〇四　三二八八　三〇一二
九三八　一八二七　三六一八　一四四六　二八三五　一八四八
四等　二一二八　八五七　二六六七　二四四三　二一八五　二八六　一九九四　七二　七〇三　二四七二　四六二　二三二〇　一九四一
九五三　五三五　二九〇〇　四七二　二八四八　二八二八　三五九四　六五三　五八九　三五九六　二一三八　四一　二八八九
二二七九　二〇八四　一三七　三八九　六九　四三九　一九二三　六五四　一三七一　三〇九〇　三四〇九　一八五七
二五八四　九九三　一七五一　三二一四　七六七　二〇一六　二二七八　一二九五　一九一三　四〇一　三一六六　一〇七九

第六回捕鼠抽籤當籤番號

一等　四〇六
二等　三〇八七　二〇六二　三一八二　九八九　四二
三等　一二七一　四〇七　八五五　二三二四　四三〇　三〇二　三三二七
二三九四　三一六九　三二六三　一八五二　二五一九　四〇九
三一一〇　六五五　一三七〇　二九九〇　一八五三　三〇一三
一〇六一　二八六一　八七四　二八六五　一八五四　二一三一
四等　一九一五　一四〇四　二二七三　一三五八　二二五七　一二九　三〇七七　二一　三九三　二八六二　二八七三　五九七　一五一〇
三〇三〇　三〇九四　八〇四　三二一二　一八六七　二八七七　三一三二　一三九四　三二四七　二八八六　三〇九四　四〇〇　二〇三一
三四〇六　一八九五　三六一五　一七九三　三四七八　一八四六　二三〇　三二〇七　三五九〇　三一二〇　一五六二　二四一六
四四三　二二四八　一八八九　九〇五　三〇九一　一七三　三一五〇　一三三四　三一一四　一二六　三三二二　二九〇七

告示

曩キニ公衆日本文電報ヲ取扱ヒシ滿洲各地通信所ニテ五月十五日即チ清曆四月二十二日ヨリ中國電報新編ニヨル清國文公衆電報ヲ取扱フコトナレリ其電報料左ノ如シ

一、滿洲各地並ニ韓國ニ到ルモノハ一句四字每ニ十錢トス

一、滿洲ヨリ日本ニ到ルモノハ四字每ニ三十錢トス

右告示ス

明治三十九年五月十四日　營口軍政署

告示

凡前所通達日本電報之滿洲各通信所今擬定自東歷五月十五日即清歷四月二十二日起凡通清國電報者可便用通行電報號碼特將電費開列於左

一、到滿洲各地帀高麗每句按四字核算銀一角

一、滿洲至日本每句按四字核算銀參角

明治三十九年五月十四日　營口軍政署

廣告

●森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より

▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲妊婦の入院を諾す（產婆大道しげ子）

院長　醫學得業士　森　矯
副院長　醫學得業士　長船郁太郎

●●●●●●一本院齒科開設●●●●●●
（五月一日より開始）
齒科醫　兒島市郎

森病院（電話一五五）

時下艶春花を見るの好時機と相成候處各位益々御清康の段奉賀候陳而弊閣儀料理部開店以來幾多諸君の御愛顧を辱し深く御禮申上候隨而今回旅館部開設いたし室內の衛生裝飾等細大漏らさす御客樣への御便利を充分注意致し候間重ねて御引立を蒙り度此段伏而奉願候　敬白

營口二本町
祇園閣旅館部
主人（電話一四四番）
各位

通名淺吉事
前田淺右衛門
右の者從前弊店營業主任の處今般不都合の廉有之解雇候間今後一切關係無之此段廣告候也
五月十五日
營口永世街第四十四號
書籍文具商　上山文英堂支店

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一（森病院三軒目）
（電話百二十七號）

從來すき燒專門を以て各位の御引立を蒙り候處今回大方樣の御勸めに甘へ料理を始め御一人前五十錢と定め至極御手輕に御銚子揃へて一圓以下に御遊びを願ふ主旨に御座候間何卒倍舊御引立の程偏に御願申上候

營口二本町
梅廼家
謹　田村太郎

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.
——
Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

銘酒劍菱
新荷着

右劍菱印新荷着仕候に付多少に不拘御注文被成下度願上候也
遼陽停車場向ヒ
池上出張店

營口○―大石橋○―海城○―湯崗溫泉停車場○―遼陽○―奉天
滿洲第一湯崗溫泉
效能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡
風景佳絕、旅館、料理、遊技完備

御披露
今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候
月　日
鐵嶺西門外火神廟六十一號
支店　高砂ホテル

古料理
滿月
平野町（電一六二）
滿月支店
平野町入口
店主　青木勝惠

質屋營業
精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候
營口永世街南裏第三十六號
北斗洋行質屋部

瀛船入港案內
盛航丸　廿四日入港
御乘船の御方は御一報次第切符持參仕候尙御手廻荷物當店送迎組へ御用命仰付被下度此段奉願上候
大阪商船會社荷客取扱所
內外國船舶代理及傭借仲立
輸出入稅關手續
解船人夫運搬請負
水陸輸送貨物仲次所
諸品委托賣買
倉庫業
西北街　德重洋行

取扱
一稅關手續　一倉入貨物
一船舶貨物　一貨物保管
一日本帆船　一委托販賣
營口永世街市街鐵道驛前
精心洋行
主任　岡本嘉吉

和洋雜貨
盛進商行
新着
椅子。卓子。窓懸。卓懸。花莚。マツト。油多加織。ビロードセン。

開業廣告
日華貿易兼運輸業
一昨年來御引立を蒙り候本公司は昨年平和克復後暫く休業中に候處今般更に開業業務擴張仕候間倍舊の御愛顧偏に奉希候
月　日
元神廟街二四八號（電話局向）
義安公司

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹、疊
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲石材

喜久洋行

營口永世街八十號
(電話百五十二番)

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣

江副洋行

營口永世街

資本金參拾萬圓
日清合股

昌

滿洲昌圖株式會社
營口分局

營口元神廟街第貳九八號

總局　盛京省昌圖府東街
既設分局　牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽

本公司經官准認眞開辨左開生理
一、東清鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨滙兌
五、各支店所在地棧房

兼辦關內外鐵道又海外轉運(與大淸通運公司連接)東淸鐵道沿路概要各站分局現方在設備中倘蒙還運貨客愛顧務祈貨客親自到本賬房及各處分局賬房面議爲荷特謹白倘途間有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按御地市價包補此

第二回新荷着

惠比壽ビール

金舛洋行
盛進商行

美味安價西洋料理
牛莊亭

營口永世街五十二號鶴の湯東隣

白米、醬油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒澤龜特約　其外和洋酒類

營口永世街第廿八號

大原洋行

(營口無比廉價販賣す)

自造
煉瓦●瓦
並に各種石材販賣

營口青堆子
加州組
(電話八十六番)

ペンキ塗請負
京阪組

營口豐濟門街李俊宅前
榎本康平

東營口西北街

裕和盛

電話八番

東淸鐵道
遼河　貨物運送業

雜貨商

新荷着
朝日ビール
日本酒澤の鶴
洋酒、食料品
和洋罐詰、食器
内外煙草、葉茶
エジプト、文具
化粧品、金物類
肥前白米、醬油
酢、木炭、其外
色々
卸並に小賣

彩票
每月 大連 鐵嶺 南洋 湖北 發賣

本店 長崎
支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

發賣
料木 標子 木版

塩川商會

遼陽小西門内　盬川商會

●建築用材
外に
電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本
北海道産松大角(自廿五尺至三十尺)二万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

清國營口二本町二五五號
主任　盬川峯吉
(電話一三六番)

發賣
料木、杆子 一丈 一丈二
亞鉛板、白糖、醬油、日本米、菓子、朝日麥酒
雜貨一切卸賣
日本酒春駒一手販賣

捌荷洋行

營口元神廟街
(電話一四七番)

工

飯塚工程局材料部

營口元神廟前
(電話百三十五番)

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、砕石、煉瓦等
一日本石炭數種

材木　荒物　販賣

秋田洋行

營口永世街第一八四號平野町
本店　下關　秋田寅之輔商店

●廣●告●

大阪鐵田組支店開設

今度新に内地より技師及職工を備聘し土木建築一切の受負業務開設候に付大小に拘らす御注文の程奉祈上候
假事務所營口西北街高砂ホテル内
主任　鐵田米吉

千客万来

萬事勉强乗車乗船好位置
營口中央市場前

旅館 東京樓

店主　熊田兼次郎
(電話百七十八番)

御席和洋料理
東京樓支店
(電話四十四番)
西洋料理仕出し御需に應ず

一、稅關手續
一船舶輸出入荷物取扱、荷物保管
一日本郵船部、回漕部
一爲替附キ荷物ハ便利ヲ計リ可申候
一引換書御送附ニ相成レハ諸費立換ヘ配達致シ保管可申候

市場時計北店三ノ階二階
宮原公司

大勉強
一會席　三ツ鉢吸物附　御一人前銀三十錢より
一まめめし　御一人前二十五錢より
右之外御意に從ひなんでもいたし升
仕出しも仕候

營口元神廟街二〇九號
月日 翁亭

大連市監部通二丁目五百廿五番地
高野孟矩法律事務所

但高野孟矩不在の節は辨護士戸口茂里代て事務を扱ふ
東京市京橋區南金六町十五番地
大阪市北區河内町一丁目六十七番地
追て當事務所々在の地は勿論仙臺名古屋靜岡横濱神戸廣島岡山福岡長崎等には事務上の聯絡を取結居候に付き右各地に於て處理す可き事件も當大連に於て御依頼に可應候

御料理

板場新來了料理は高尚ト淸潔ト廉價ト輕便トヲ打テ一團ノ雪月花ノ會席ト仕餘ヘ御意ニ從ヒナンデモデス
ゲンシン
ビヨガイ

まつのや

新來の姿等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます

まつのや藝妓　ふで
全　松吉
全　二〇か
義太夫　牛莊

御客樣方

發行所　滿洲日報社
販賣所　滿洲日報社
NEWCHWANG, THURSDAY, MAY 17, 1906.

宮門抄

十八日　工部　鴻臚寺　正藍旗值日　無引見
召見軍機

論說

論中國立憲當視國民程度為遲速之期（續）

曰、無定見。大凡人之處事。必先審其事之輕重可否。而後乃攸往咸宜。不慮阻礙。若事先既無遠見之能。事後亦乏詳慎之意。冒然從事。決無一定之方針。以此等之人格。使之條議要端。參論大局。其不貽誤而僨事者。鮮矣。曰無恆性。書曰、惟天降衷於下民。若有恆性。孟子曰、有恆產者有恆心。無恆產而有恆心者。惟士爲能。論語記南人之言曰。人而無恆。不可以作巫醫。易曰、不恒其德。或承之羞。是恒之一字。貫人生徹始徹終之事業。而不可斯須去者也恒者、常也久也。其体與生俱來。其用隨時發見。士多涵養故能葆而常存。雖巫醫一端。亦不可稍失有恒之義。可見萬事無定。世變紛紜。苟以恒性持之。自無不濟之事。華人不然。譬如製一器而尚未專精。已有厭棄之意。創一業而稍無利益。即有中止之心。凡事類然。多數類是。亦國民之大病矣。曰、誤迷信。舉一切鬼神之事。風水之談。離奇虛誕之說。皆深信弗疑。以爲確有其理。如小說之神仙。離記之怪異。一有所聞。輒手舞足蹈。樂於聽從。歷久不倦。縱有談論實業。演說眞理之人。在乎其側。而彼將去此之他。事喜新奇。以致拳匪之鴟張。會匪之滋蔓。皆此迷信之心。有以啓其漸也。略實迹而馳驚虛無。其害有不可勝計者矣。綜此數端。類爲華人之通病。或積習相沿。而不知禁絕。或性質所近。而莫能改移。國與民之維持。民與國之關係。相間何啻萬里。夫以中國幅幀之廣大。人民之衆多。較之列强至大之國。人數尚多其半。況開化最早。禮教最先。黄帝之裔。神明之胄。碩學鴻識。魁梧奇傑之士。無論廊廟公卿。即山林隱逸。草野遺民。頗不乏通今博古。經世致用之達材若變法自强。廣其招致之途。嚴其躁進之路。期得眞才。期收實效。勿徒拘以禮文。限以資格。則才難之歎。可以不興。公輔之選。可以立致。而愚猶齦齦然慮。汲汲焉憂之者。蓋以今之法制。與古不同。今之政體。與昔大異。向所謂通經致用者。恐行之於今。而多格不相入之勢。矧中西異制。各國異法。博訪諏咨。且恐難於完備。至立憲政體。注重民權。必人人有法律之思想。有愛國之精神。有普通之知識。而後乃可共遵蕩平。同膺幸福。設以上項所言之弊。雖不能人人皆然。而平均計之。賢者少。不肖者多。知者稀。庸愚者衆。以如此之民格。遇國有大事。發議院條議施行。其何知利害之所關。競爭之所在。茫然不解。有顚蹶躓而已固未見其可也。現今中國出使大臣。聯銜會奏。乞朝廷宣布立憲。並要旨三端。期以五年爲限。中國如實行立憲也。必於此五年之內。竭力興學。使人人皆受普及之教育。皆有普通之學問。然後議事守法。俱有端倪。俏知趨向。不致大相枘鑿。再加以漸磨之化。馴致之功。日新月異。歲不同。自有蒸蒸日上之勢。則立憲可實行也。富强可立致也（完）

中外要聞

●傳聞中德同盟無據　傳聞德國與中國訂立同盟一事固係對日英同盟頗抱歉意流傳臆說故在外交社會遂以此爲無據云

●英國匯寄賑欵　英國對於日本北地凶荒捐助賑欵刻已經匯寄聞賑欵總計約五十萬圓之譜

●外交界不滿意於收回稅權意見　中國收回稅關一節中外頗有意見略誌昨報茲聞外交中人云赫宮保於中國財政頗有勞績中國政府夙認之已於光緒二十四年總理衙門照會各國使署聲明赫總稅務司勞績內云如赫總稅務司雖因事願辭任回國然中國政府應請赫總稅務司留任等語今日中國政府突派稅務大臣全國稅關所有華洋人員總歸節制總稅務司者有名無權徒擁虛位而已是豈政府酬赫宮保勞績之道哉

●端戴二欽使將回國　中國出洋大臣端戴二欽使現於杜列斯甸、列普西克、諾爾懺爾克、等各地所至均被歡迎又於薩克索尼覲見該國王並蒙優待聞一欽使定於六月七日當由義國涅布爾埠搭乘北德路杜公司輪船巴善倫號回國

●英擬提出海牙平和會議事項　英國議會刻已議定由工匠黨議員維威安君提出海牙平和會議商議事項已由各議員悉心贊成願英國將減縮兵備一事極力維持以期安定

●英歡迎日本艦隊　日本練習艦隊松島、嚴島、橋立、號等兵艦刻已駛抵英國金山美爾勃倫埠聞該埠官紳預備一切頗爲歡迎

●日俄睦誼一斑　據俄都電云俄相伊斯窩爾斯基與日本伊藤侯爵頗形親善自今以後日俄兩國邦交必當益見敦睦矣

●埃及派兵防邊　埃及政府挑選沿岸衛兵携帶快槍之精兵派赴蘇士海峽東方以資防備

●英海軍抵比埠　英國海軍副提督路易親王統帶巡洋兵艦二艘已駛抵干比羅爾鳥斯埠聞英第二艦隊當於今日並駛至

●駐京薩欽使之後任　英駐京薩欽使告退一事應由前駐韓欽使憲爾坦君接任

●土皇之允從　土爾其皇帝於英土轇轕將見決裂之際必改意允從

雜報

●有玷官箴　昨聞鳳凰城來人云該城管獄官莊虎臣者技慣攢營才殊捷敏惟性溺於色色之所在幾忘命之謂何凡婦女與之相交如蒙愛寵勿論民家娼家一有桃李之投即同葭莩之戚官民之見渾然全無殊於官箴有玷有城外居民翁媼二人撫一女度日耕讀傳家足可自給女頗知書且貌豔如花近年待字凡有聞見無不贊稱莊知之輒爲消魂因賀新正遂謀躬謁值翁他往媼病臥茵强起應客女因敬茶莊接茶贊女豔不已女赧顏俯首無語莊漸進前摻女手作親愛聲女厲顏曰既係官長禮宜端莊何作此態莊曰唉憨兒我與兒父年若實兒父執則親愛何傷女曰我輩農家不悉官禮大老爺且請回爲俗日我父登府答拜可也莊决賞女銀洋拾元女厲拒不受致莊沮興而返一時鳳城傳爲笑柄云云

●誘開民智　昨聞埠民傳曰華四月初十日開演說會時經談鐵隍太守捐洋百元贊成盛舉並於火神廟本會所設一閱報處每購有關事勢各報置諸案上一任有志時務諸君日往縱覽希冀民智擴充倘於報中有未通曉其字義者乃有講報人爲之指示即可明其理由云云

●滅頂之凶　昨午後元茂盛碼頭有二人肩扛墟包將至船頭其一失足落水當時沉沒其夥大聲呼救傍有船戶多人手執木篙等候多時忽然浮出被衆撈救腹中之水已滿已不知人事云云

●海路難行　本埠日前早到山東裝大魚之船二隻已竟出思欲回家重整魚業因口外有賊船來往搶劫不時未敢行動云云

叢談

●鄭孝子　鄭孝子立本肅人父相德坐事戍西域立本稍長知之痛哭廢寢食及年十八辭母尋父家故貧誓以丐往母初止之不聽臨行哭而戒之曰汝父左手小指缺一節中有橫紋幸而相見以此爲驗也歷半年行抵庫車查軍籍無父名流寓數月未知所往邊徼人稀地廣又無可乞食者困甚會軍將高魁元聞立本操中土音問之具以告魁元驚曰汝父我友也曩同戍烏魯木齊之綏來縣雖然別八年矣去此三千里中隔雪山往大不易也餽貲而別立本既知父耗心益急時張格爾餘黨未靖官道梗塞乃裹糧走小路攀崖越嶺誤入深山前臨溪澗深不見底立本旁皇無策忽有獸自南來大如象疾行若電黃光閃爍舉步作金聲瞥然北去因念此物來處當有途逕乃夜探行轉折至天明乃回庫車之路惝恍道旁氣息僅屬惟呼天籲父而已差官趙弁者從山脊過問而憐之曰我轉餉回即赴綏來當携汝行道路險峻勿自往往亦不識也託立本於回務主事奇氏家奇禮遇之居逾年趙不至亦無他件乃復潛去行入戈壁中絕水時夏口渴酷烈擲路旁馬溺飲之飲而嘔嘔而復飲如是數日憊極而仆適番衆騎馬過撫之未絕負至泉飲之逾時始蘇又以餅餌食之復起行數十里見天山雪水洶湧迎來自念有進死無退生褰裳涉之寒若層冰中挾砂石如碗如拳擊脛骨痛不可忍良久得岸始達土魯番大道由是歷蒙古塔白洋河自烏魯木齊急奔綏來縣訪問則父已病沒數年矣立本長號過市慟不欲生瀕死者再先是相德抵戍西人延請教讀隸門下者頗多卒之日共營葬焉及聞立本至告以墓所爭延致之立本既告墓患病二年同門輪視不少怠以故得不死他日啓墓門人悉會中國人流寓西域者咸來設祭祭畢開棺體膚悉化惟左手獨存缺指橫紋宛然遠近駭異以爲天留隻手以待孝子辨認也立本益哀哭不能止衆上其事於都統沿途具夫役給驛馬護孝子負骨以歸時英人至廣東之前四歲蓋往返二萬數千里時歷八年立本抵家拜母相持悲泣葬之日父老士女奔走往觀咸呼爲鄭孝子云鉢池山農曰我朝孝子尋親若岳都冷秀才昇之遠走龍州崑山曹君起鳳之跋步西陲難哉不多覯已然或資力有餘猶有賴焉鄭孝子乞食絕域備歷荼苦卒能辨認指節以歸至誠感神信夫世之日侍庭闈而奉養疏略者寧不痛哉

NEWCHWANG, THURSDAY, MAY 17, 1906.

Mr. Chen Yung ([illegible]), Asst.-Manager of the Foreign Board, Mukden, is at the port on official business and will leave north next Sunday.

The General Sports Club is going to hold a meeting at the Billiard Room of the "Manchuria House" Bar at 6.45 to-morrow evening (the 18th). It is understood that Dr. Daly has been requested to take the chair. All people who are interested in athletic sports are invited to attend.

We may add that, in view of the great improvement lately introduced into the Recreation Ground, a season full of bright promises is open before the Club.

Among the latest arrivals at the "Manchuria" are Mr. and Mrs. A. J. Colley (London), Mr. J. Mortensen (Chefoo), Mr. H. Freese (Shanghai), Mr. and Mrs. Stoueff (Vladivostock), and Mr. C. H. Falloon (Peking).

YESTERDAY'S TOKYO INTELLIGENCE.

Premier Saionji made a call on Marquis Ito last Tuesday morning, and after a consulation on some important state affairs, was present at the Cabinet conference.

Gen. Sakuma, Governor-General of Formosa, left for his post yesterday morning.

Gen. Oshima, Viceroy of Kwantung, may extend his stay in Tokyo, till the end of this month.

Count Inouye gave a banquet in honour of Mr. and Mrs. Schiff and Marquis Ito yesterday.

The general meeting of the Japanese Patriotic Ladies Association will be held at the Shinjiku Imperial Garden on the 20th inst.

It is reported that a large number of foreign agents are now all over the interior of Japan in quest of a good field for the investment of foreign capital.

The trial of Mr. Chin Sho Kun ([illegible]), ex-Minister of Army, Korea, has resulted in his acquittal.

The Progress of the General Vaccination, (Part I.)

From the medical report sent in by Capt. Suzuki on the progress of the general vaccination of the native Yingkow residents, we learn that 13 days were taken for East Yingkow from Feb. 24th to Mar. 3rd, and 18 days for West Yingkow from April 4th to the following 27th. During the intervening days supplementary vaccinating stations were also kept open at both the Medical Office in the Police Court compound and the Yingkow Hospital.

The number of people vaccinated aggregates to 35,820 representing 66.67 per cent. of the entire population of 53,725. The balance of 17,905 who have failed to appear is mostly made up of aged folks, young babies, the immune class, and the sick people.

Many are difficulties the medical authorities have to cope with in making their task thorough.

Most Chinese are, to begin with, all but lost to a sense of sanitation and callous in the extreme towards contageous diseases in general.

A vague superstitious notion had prevailed among them, regarding an attack from the smallpox as a sort of tax to be paid to nature, till the boon of vaccination was first introduced into Hunan Province some 30 years ago, thence speading into Shensi and Shantung. There are traces that immigrants from Shantung who poured into Manchuria in great numbers about that time carried it over with them.

In fact, the smallpox itself seems to be an imported disease. Antung and Yingkow are regular hot beds for it, but the farther north as one goes the less hold it is found to have on the district, till Mongolian soil is practically untainted yet with the disease germ.

Vaccination was practised by scholars at the outset, but has been taken up later by doctors and some tradesmen. Spring has been the most popular season when children from 2 to 6 and in few cases above 10 years of age were operated upon.

Many causes are assigned to the cold reception it has hitherto met with in China. The dearth of vaccinating doctors, their exhorbitant fees, native indifference to pockmarks, false reports o exaggerated pain, and the seclusion of the females;—all have conspired to hinder the spread of the preventive measure.

廣告

啓者敝館現在擬定推廣報務新增機器以便印刷各種册籍單張凡大而書籍廣告傳單及小而商報名片等類皆能妥實迅速定期取件並能代譯日英各文一切紙料悉從東洋自行運到各式既全價尤廉較之別購本處者其價目格外公道　貴官商賜顧無論何件函可訂印且不拘多寡一律定價以廣招徠務乞隨意惠臨面訂一切可也

滿洲日報帳房謹啓

營口旅館料理店案內（いろは順）

旅館料理　第一營口ホテル　第一・樓　元神廟街九十六號（電話八四番）

料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎

旅館　日營ホテル　河岸通り　店主 井上源吉

料理　東京館　永世街八十六號　店主 村上京四郎

旅館　東茂旅館　西北街百七十三號正金銀行西三程

料理　千鳥　元神廟街百三十三號　店主 吉住善藏

料理　沖の島　永世街百六十四號　店主 中川福三郎

料理　吉野亭　永世街八十六號　店主 坪田正好

旅館料理　高砂ホテル　高砂亭　西北街（電話一四〇番）　店主 片山小みつ

旅館　竹村館　永世街二十二號（電話五一）　店主 麻田久二

旅館　大和館　永世街三十四號（電話十一號）　店主 前田九一郎

料理　滿洲樓　南永世街第十號　店主 直塚勝一

料理　鳳梅　營口港[illegible]第百〇四號　店主 田島彌助

料理　まんなをし　永世街字二本町二百廿九号　店主 和田常松

和洋料理　公樂園　南永世街

旅館料理　金城ホテル　第二金城ホテル　永世街百六十六號　店主 齋藤富次郎

料理旅館　醉花園　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主 澁田留吉

料理　喜樂亭　營口平野町

旅館　東雲旅館　永世街七號　店主 谷口今朝太郎

さるそば　第一更科
さるそば　第二更科
營口元神廟街 永世街鶴の湯角

御料理　一力　並ニ温泉　毎日新湯　營口永世街　店主 堀万助

和洋料理　松月亭　營口元神廟街一四三号　住松信大郎

料理　都樓　平野町　店主 坂本ちか

奉天旅館料理屋案內

旅館　奉天館　奉天城內鐘樓南大街　奉天軍政署指定旅館（電話二五）

和洋御料理　日清倶樂部　奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿　瑞豐館　奉天小西關大街北側　館主 河野嘉吉（電話　號）　奉天小西關大街北側

會席御料理　高等御旅館　天神樓　温泉付大勉強キレーヂヌイシヒ　奉天小西門通（元紅葉館跡）（電話　號）

旅館料理店　日の出樓　樓主 大瀬七造（電話十七號）

旅館料理店　日盛館　奉天小西關大街南側　館主 入江熊男（電話　號）

旅館料理店　梅松館　奉天城內灰市街東華門宮殿東側　館主 押尾富次郎（電話　號）

旅館料理店　大和館　奉天大西關高臺子廟前　館主 今井一

旅館料理店　日奉館　奉天小西門外大街　館主 原田清五郎

御料理　梅ケ枝　奉天小西門より一丁西の辻北入　館主 辻井ムメ

高等御旅館　茂林館　奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店　日章館　牛肉雞肉すき燒　日章亭　奉天小西關大什字街南へ入（電話　號）

旅館料理店　旭館本店　旭館支店　奉天大西關　奉天十間房　館主 原田新吉（電話　號）

御旅館　瀋陽館　奉天小西門外大街路北

遼陽旅館料理屋案內

さるそば　營口支店　更科　奉天小西門外金城館前

旅館料理業　日營ホテル支店　主任 林德松

御料理會席　菊水館　主任 朝枝園提

旅館西洋料理　遼陽館　主任 永瀨宇吉

旅館料理業　公陽館　主任 宮川秀基

御料理會席　末廣屋　主任 山根初之亟

御料理　凱旋亭　色々應御注文　主任 古谷庄太郎

旅館御料理　遼塔ホテル　主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽倶樂部　營口東雲館支店　主任 谷口今朝太郎

會席　玉家　主任 西野治三郎

御料理會席　來々亭　主任 石田清

和洋料理旅館　滿洲ホテル　遼陽西街西門二十七號　上松榮治郎

今有賓州廳之東老營口街永增燊郝俊卿於二月初旬在哈爾濱上火車被匪人將遂帶銀元包壹個計洋拾五元內有奉天德源布櫃存錢條一紙計瀋錢五萬八仟三百吊其條上註期至四月初一日見條付錢因此條已失本號今在省至期業將存錢如數使出倘失之原條日後稍見來討即作廢紙勿付切切

奉天　天然清水氷發賣廣告
倉庫ニ盛　毎倉庫約二十五万斤
特約一万斤以上
右發賣仕候間至急申込相成度候
奉天小西門外內　大仁洋行

一和洋御料理　遼東館　遼陽城內東街

本館は遼陽城內第一繁盛の地にあり內外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

旅館　御料理　扶桑館　奉天大西關大什字街　第五分局千〇六十八号　館主 堀田ハル　電話　号

今回海陸連絡の便を計る爲め當行瀛船賴朝丸、摩耶山丸、第二攝海丸、中國丸の四隻を以て大坂、神戸、門司、大連、營口間を定期航海せしめ滿洲內地には左の箇所に出張所を設け海陸輸送及輸出入品委托販賣業に從事仕候に付き陸續御用仰付被下度候也

大阪市西區西道頓堀貳丁目　本店　河邊商店
營口元神廟街　支店　松茂洋行
大連信濃町百十一號　松茂洋行出張所
奉天小西門外大街路　松茂洋行出張所
鐵嶺西門外　松茂洋行出張所
昌圖府驛　松茂洋行出張所
猶東淸鐵道各驛に代理店を設置し御便利相計り申候

會席料理　營口警務課前南に入る　三日月

和洋會席　御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候
營口永世街二本町　日本館（電話百三十）
各位樣

業務擴張

弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘傭致從來の御高恩に酬がため非常大勉強仕高需に應し可申候條尙不相變倍舊の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候　敬具

活版印刷并に製本
弊所特色
●印刷鮮明　●價格低廉　●叮嚀專一　●期日正確
營口入口永世街東二角本町　川本活版所

各國高等雜貨　電話百五十番　川本洋行雜貨部　營口永世街

新荷着
歐米各國高等化粧品、新流行夏帽、靴旅行用鞄各種　籐製寢臺、椅子、御婦人用小間物種々
其外珍敷品澤山

新荷着

高等麥酒スペシヤルライト
スペシヤルライトはピルスナビーヤにして原料精撰風味高尙夏期唯一の好飲料なり
釀造元　大日本麥酒株式會社
滿洲特約販賣店　營口元神廟街　關東公司雜貨部（電話五番）

回天堂三木大藥房（營口永世街）

存案　招牌

經營項目
●各種靈驗丸散膏丹
●東西兩洋各種藥材
●各樣玻璃瓶子
●各種繪具染料
●消毒及繃帶材料
●肥皂（胰子）牙粉香水等貨
●醫化諸學所用機器
●照相所用藥料及機器
●此外醫藥應用所有一切貨應俱全
（電話百九十番）

凡所備置各貨均皆實心撰擇料正品務期平價發兌而廣招徠如蒙仕商賜顧者或面議或函購或托辦均必認眞辦理無誤　尙此佈
告

爲替相場（五月十六日）
日本向　百〇二圓四分ノ一（軍票百圓に付）
上海向　七十一兩八分ノ一（同）
天津向　[illegible]

日本品最近物價表　加藤洋行
一半紙　一〆　二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙　一〆（全）　七圓五十錢
一金袋　二十枚綴　三錢二厘以上四錢
一秋袋　百枚　十三錢以上十八錢
室內裝飾品及寢具　矢野洋行
一帳面　三枚組　六圓九十錢以上六十五圓
一疊　一枚　二圓六十錢以上三圓
一麻緞通　十枚（全）　八圓
一綿緞通　一疊敷　三圓五十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription　4 cts. a copy　80 cts. per month.

本紙定價
一枚ニ付　銀四仙
一ケ月前金　銀八十仙
半ケ年前金　四弗八十仙
一ケ年前金　九弗六十仙